

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会

～報告～

令和元年6月17日(月)

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のため、研修体制について検討する。

○顔の見える関係会議について検討

○各団体主催研修会等の連携・調整

第1回 研修部会報告(令和元年6月3日)

1 顔の見える関係会議について

～今年度の方向性～

柏モデルの発展と成熟に向けて

～その人らしい最期を支える多職種連携～

◎ 開催回数 年 3 回

◎ ファシリテーター 合計 3 9 名

(各団体からの選出)

	日時	テーマ(案)
第 1 回	7 月 1 8 日 (木)	①心不全について ②認知症について
第 2 回 エリア別	1 1 月下旬	①がん患者の意思決定支援について ②脳卒中について
第 3 回 アドバンス	令和 2 年 2 月 2 0 日 (木)	意思決定支援について

2 意思決定支援ガイドラインに関する事

【研修部会の役割】

意思決定支援ガイドラインを活用した支援者向けの研修会の企画
についての検討を行う

○研修会の開催についての意見

＜機会＞

- ・ 地区別
- ・ 施設ごと
- ・ 大規模な研修会
- ・ 各団体の定例会

＜方法＞

- ・ ガイドラインの内容を章ごとに分けて研修する
- ・ ガイドラインとわたしの望みノートを併せて活用する
- ・ 事例を活用する
- ・ 施設の症例検討研修会の際に併せて行う

○その他の意見

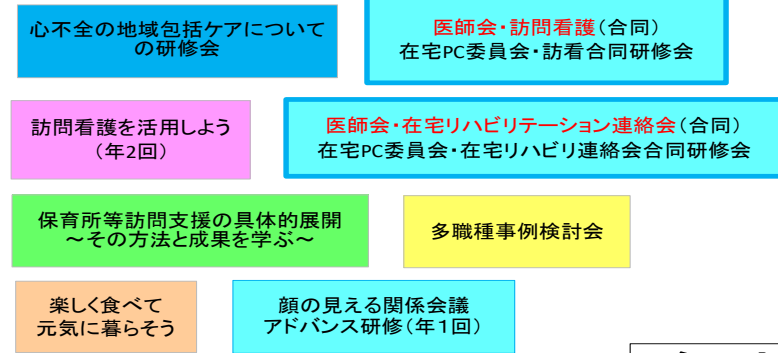
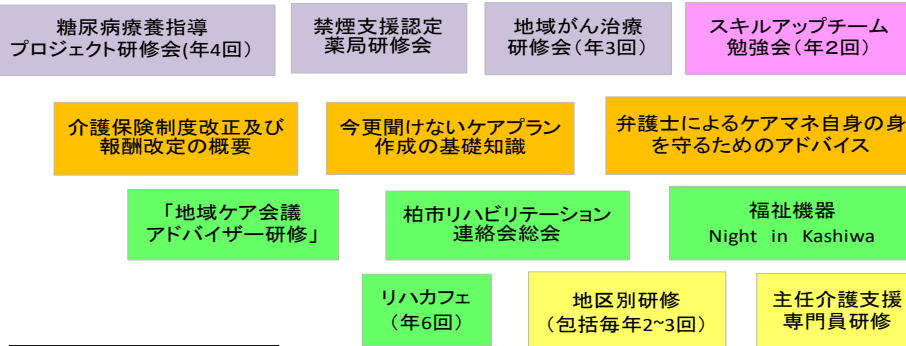
- ・ まずは、ガイドラインを配布し、自由に活用してもらおう。
その後、アンケートにより活用方法等の実状を把握する。
- ・ 配布した際に内容を熟読し、活用してもらうための仕掛けが必要。
- ・ 研修を行う際に、ガイドラインの趣旨や解釈の統一が必要。

第1回 研修部会報告(令和元年6月3日)

3 各団体の研修会等について

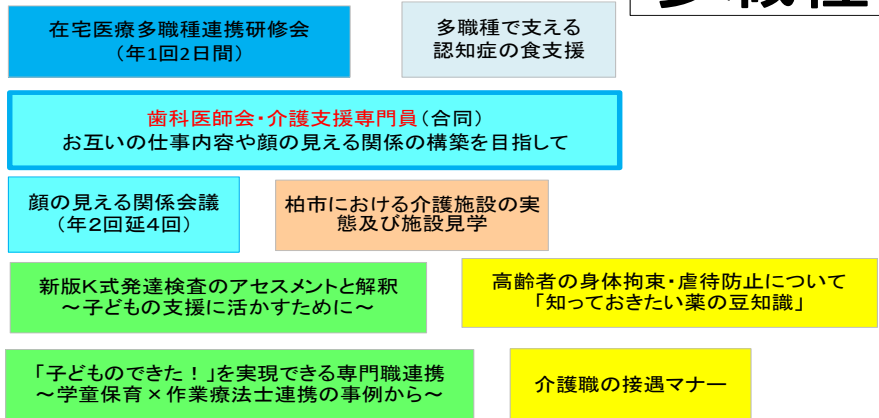
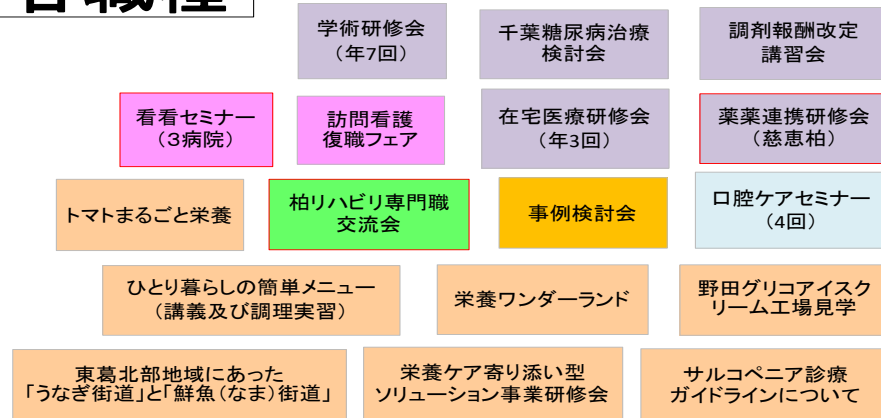
※平成30年度実施研修分布図

深 掘

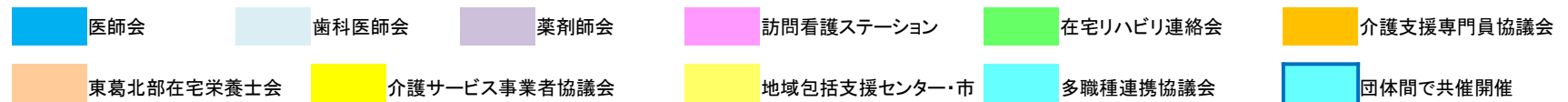


各職種

多職種

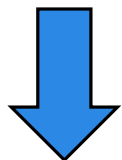


導 入



3 各団体の研修会等について

- ・各団体が計画している研修会の共有



★同職種連携に関する研修会の開催：病院と在宅との連携推進

★各職能団体共催での研修会の開催：他職種連携の推進

(同職種・各職能団体共催での研修会は、今年度も複数団体で実施予定)

第2回研修部会

令和2年3月2日（火）

【内容】 令和元年度活動の評価と令和2年度活動への提案

第11回在宅医療推進のための多職種連携研修会

日 程 令和元年9月8日（日），10月20日（日）
場 所 柏地域医療連携センター 研修室
主 催 柏市医師会、柏市

※GW：グループワーク

（1日目）令和元年9月8日 終日

- ・ 柏市における在宅医療の取り組み
(講義)
- ・ 在宅生活を支える多職種プレゼンテーション
- ・ 心不全について (講義・GW)
- ・ 認知症の行動心理徴候 (BPSD)の基本的理解 (講義・GW)
- ・ 摂食・嚥下障害の基礎的知識と対応 (講義・GW)
- ・ 意見交換会

（2日目）令和元年10月20日 終日

- ・ 退院時共同指導(病院とかかりつけ医の連携)ご家族の体験談 (講義)
- ・ がんの疼痛緩和に必要な知識 (講義)
- ・ がん患者への在宅医療介護支援 (GW)
- ・ 柏市の意思決定支援の取り組み (講義)
- ・ 本人・家族の選択と心構えをどう支えるか (講義・GW)
- ・ 在宅での褥創ケア (講義)
- ・ 一般開業医が取り組む訪問診療の実際(講義)
- ・ 在宅医療を推進する上での課題とその対策 (GW)
- ・ 修了証書授与

【実地研修】

- ・ 医師のみ，原則として，研修1日目から2日目までの期間に1回実施(概ね3時間程度／回)
- ・ 研修先は，同行訪問（訪問診療・訪問看護・ケアマネ同行）や緩和ケア病棟